

〇〇万円の増加となりました。2年連続で過去最高を記録しました。好調が続いている軽種馬ですが日本経済の動向に影響されやすい産業から好調時に生産基盤を整えてもらいたいと思います。

当JAの7年度の農畜産物の販売は軽種馬を除いて全体で21億4,400万円となり、前年より2億4,000万円増となりました。全体的には各作目は数量と面積は横ばいではありますが、価格の上昇で販売額が伸びております。

当JAと致しましては農家の高齢化、また、農家戸数の減少、生産費の高騰という中で国を始めとする道・町と各行政機関に支援を求めると共に、系統組織を中心とした農政活動に努力していきたいと思っております。また、7年度より始めた農業振興5カ年計画に基づき作目別振興対策を各振興会と共に情報を共有して取り組んでまいります。

当JAの各部の事業及び財務状況は組合員・職員の努力の成果で計画以上に推移し、7年度の収支決算は計画に対して5,200万円増の9,100万円となりました。7年度も営農状況を踏まえ営農支援対策費と

して営農燃料及び配合飼料・エン麦など組合員160戸に対しまして昨年12月に905万円を支援させて頂きました。また、令和2年度より実施されている北海道信連、中央会、農林中金への信用事業など経営改善計画は経営の改善が認められ、令和7年8月20日をもって解除・終了する事ができました。これをもちまして、長い間続きました指導改善指定JAから通常のJA事業となります。しかしながら、今後につきましては農協の資本力を高める事や、現在の金融情勢を鑑みて今後も金融事業は信連の代理店として、また、専門農協としての立場で農協運営を進めてまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。

最後になります。将来の地域農業を考えた時、高齢化による組合員の減少、職員確保の難しさ、更に地域経済も人口減少など課題を抱えております。今、JAはかつての信用事業譲渡の際のように、目に見える問題に直面している状況にはありません。そんな今だからこそ将来の地域農業を大きく育てるために、今から体制を強化し、農業振興や職員の確保・教育など将来に向けた取組み

を行うことが必要と考え、理事会で協議しJAにいかつぷとの合併を検討する事になり合併検討委員会を立ち上げました。

これから合併に向け、合併の効果や課題事項等の洗い出しを進め、組合員の皆さんと時間をかけ、将来の農業の在り方を踏まえて話し合っていきたいと思っておりますのでご理解をよろしくお願ひします。

本総会には、5つの議案を上程させて頂いております。

何卒、慎重審議の程、宜しくお願ひ申し上げます。

皆様方には、先行き不透明な世界情勢が続きますが相互扶助のもと営農に営まれ豊穰の出来秋を迎えられます事をご祈念申し上げます。開会の挨拶といたします。

本日は、ご出席を頂き誠に有難うございます。」と挨拶がありました。

議長には小倉正信氏、不動達也氏が選出されました。

JAにいかつぷとの合併に関して意見、要望が出された上で5議案すべて原案通り可決となりました。

